

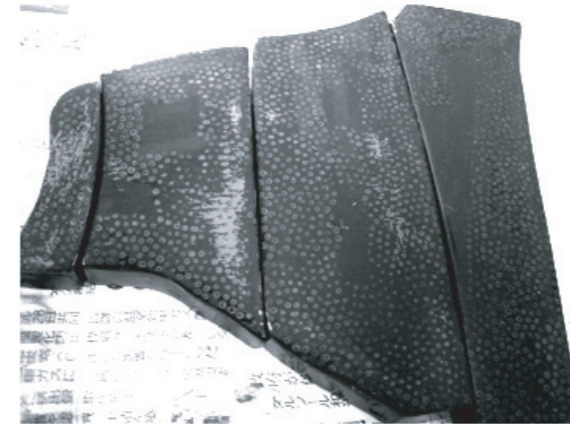
# 「人生のパズル」

a2200627 早川由香梨

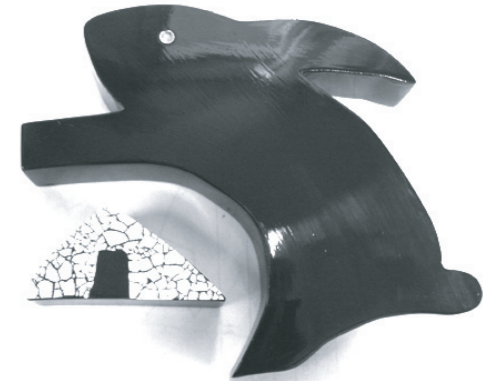
## -制作意図-

漆は産地によって様々な技法があります。なぜならいろいろな人が考え生み出してきたという歴史があるからです。私はこのことを人と漆の成長だと感じました。この二年間漆というモノに触れ、いろいろなことを見て体験し、学んできました。その学んだ技術・技法一つ一つを私自身の成長とも合わせ、パズルとして漆で表現しようと考えました。

またこの作品にはもう一つのテーマとして「10年後」というのがあります。これは10年後の自分が自慢できるもの又は誇れるものを作りたい、そういう願望があったからです。この短大という2年間で学んできたことをここで終わらせたくはない、この先少しでも作り続けていきたい、そのように考えた結果もまたパズルというものに行き着くことになりました。



ななこ塗り



木地溜め・卵殻

## -制作工程-

(共通)

- 1、パーツ切り出し
- 2、削る
- 3、固め

(木地溜め塗り)

- 4、木地呂漆 x3 (研ぎ出し蒔絵)
- 5、螺鈿
- 6、木地呂漆
- 7、摺り
- 8、銅磨り
- 9、摺り x2
- 10、磨き
- 5、螺鈿・銀粉
- 6、固め
- 7、摺り
- 8、銅磨り
- 9、金粉
- 10、固め
- 11、摺り x2
- 12、磨き

(塗り)

- 4、蒔き地 x3
- 5、錆
- 6、黒呂色

(漆絵)

- 7、色漆を重ねる
- 8、摺り
- 9、銅磨り
- 10、摺り x2
- 16、磨き

(研ぎ出し蒔絵)

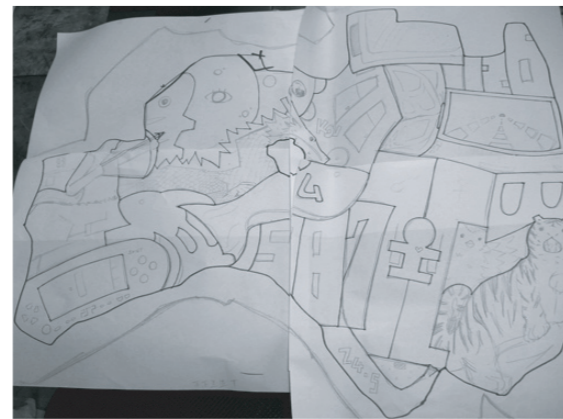
- 7、螺鈿・銀粉
- 8、固め
- 9、黒呂色
- 10、摺り
- 11、銅磨り
- 12、金粉
- 13、固め
- 14、摺り x2
- 15、磨き

(研ぎ出し：乾漆粉)

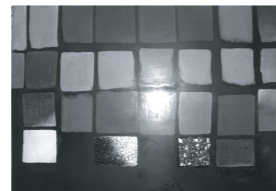
- 7、乾漆粉
- 8、固め
- 9、木地路
- 10、研ぎ出し
- 11、木地路
- 12、銅磨り
- 13、銀粉
- 14、固め
- 15、摺り x2
- 16、磨き

(ななこ塗り)

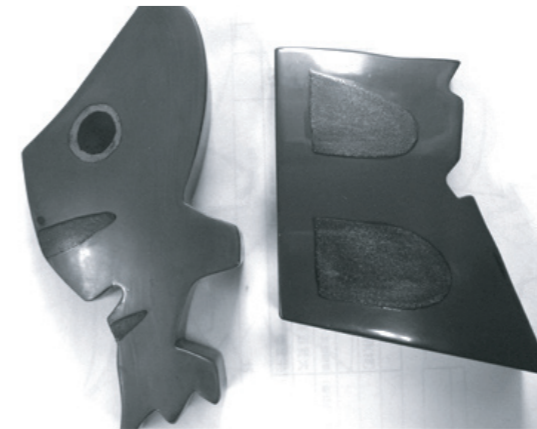
- 7、ななこを蒔く
- 8、色漆
- 9、黒呂色
- 10、研ぎ出し
- 11、黒呂色
- 12、摺り
- 13、銅磨り
- 14、摺り x2
- 15、磨き



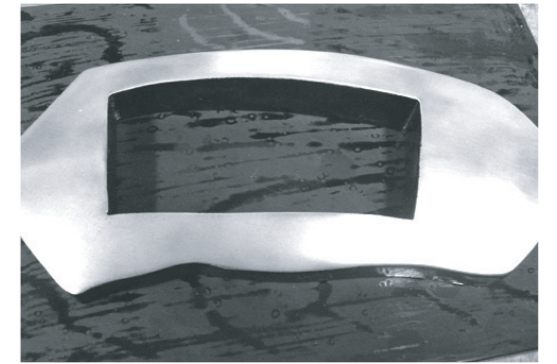
蒔き地



試し用手板



漆絵・乾漆粉



銀粉

## -考察・感想-

制作にあたってまず大変だったのが、下絵でした。福島県という私が今まで住み暮らしてきた土地を全体のできあがりとし、それに自分自身の過程であるパーツ一つ一つを当てはめて描いていくのには根気が入る作業でした。またパーツ一つ一つも、自分は今まで何を経験し積んできたのか、自身とは何で出来ているかなど、あれこれ考えさせられました。

漆の作業は思っていたよりも難しく、苦戦を強いられました。表面がカーブを描いていたため、塗りが厚くて縮んでしまったり、研ぎすぎて下の面が出てきてしまったりと多くの失敗をしましたが、これは私の人生でも多くあったことなのでパーツ一つ一つが本当に自分自身と重なってると思うとなんだか楽しくなりました。

漆芸を通して私は失敗を何度かしましたが、多くの表現を得ることが出来ました。県展の出品作品では木の皮の表現に漆の縮みを逆に利用したり、今回のウサギのパーツも良い具合に漆が縮み「毛」の表現が出来ました。漆の特性を様々な角度からとらえ表現として表す可能性も感じられました。

この二年間、漆にかぶれながらも充実した日々を精一杯送ることが出来てよかったです。